

指定避難所の備品や非常食、安定ヨウ素剤など調査

6月議会を前に日本共産党議員団

日本共産党議員団は、5月26日から28日にかけて、災害時に避難所になる施設や、特に原発の過酷事故の際に必要なとなる安定ヨウ素剤などが保管されている医療施設などを視察しました。

最初は、休日・夜間診療所です。安定ヨウ素剤の保管状況を確認しました。

新潟県では、ある職員がヨウ素剤の更新を怠り、購入したように偽装したという事件が発覚して、大きな問題になりました。この問題では、泉田知事が「チェック体制が甘かった。組織に瑕疵(かし)があった。お詫びしたい」として、組織的な責任があることを認めました。

一方で、上越市では、以前から独自に40歳未満の全市民分の安定ヨウ素剤を準備して保管しています。保管場所は、同診療所のほか、旧13区の総合事務所などです。現在保管しているヨウ素剤は、順次使用期限を迎えますが、その後は県が準備するヨウ素剤に更新し、同様に分散保管する計画です。

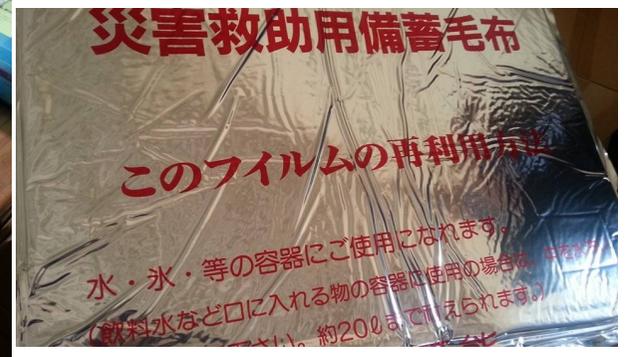
27日から28日にかけては、地域防災計画に基づいて災害時に必要となる備品や非常食などが保管されている、

市内各所の指定避難所(学校や保育園等)を視察しました。

真空状態でコンパクトになっている毛布や、カセットトイレ、簡易トイレの他、今回から特に重視された女性の生理用品、子どもたちのための粉ミルクなども含めて、整備状況を確認しました。

集中保管場所になっている公共施設なども回りましたが、この管理も適正に行われていました。必要となる備品や非常食などは、種類が多くあります。例えばご飯や飲料水などは、同じ品目でも賞味期限・消費期限が異なります。これらを迎えたものは確実に更新していましたが、当たり前のことですが、間違いなく管理して更新するのは、本当に大変だと感じました。

また、来年度から民営化される東城保育園を訪ね、準備状況について園長や担当課から説明を受けました。民営化



毛布や非常食など、災害時備品の保管状況

にあたって経営を引き継ぐ法人が、マリア愛児園を運営している宗教系の社会福祉法人であることから、来年度から宗教的行事が導入されるのではないかと懸念が保護者から寄せられています。この件では、仮に導入するとしても、時間をかけて保護者と同じ意を形成することが前提であるとのことでした。一方、スムーズな引き継ぎのため、すでに担任の配置などに配慮しているとのことでした。

北陸新幹線の上越妙高駅や、信越線の脇野田駅の工事整備状況なども、担当課の説明を受けながら、現地を確認しました。

このように、日本共産党議員団は、現場調査に基づいた



休日医療センターに保管されている安定ヨウ素剤

「メタンハイドレードの開発の現状」について学ぶ

直江津港湾協会総会

橋爪・上野議員が出席



5月30日、直江津駅前のホテルで、「平成26年度直江津港湾協会総会」が開かれました。総会終了後、資源エネルギー庁資源燃料部企画官の高倉秀和氏が「メタンハイドレード開発の現状」と題して講演を行いました。採掘の採算性や生産技術開発について、具体的な可能性などについて詳しく説明しました。



急ピッチ工事が進む新幹線上越妙高駅

日本共産党上越市議員団ニュース

No.413 2014年6月8日

連絡先

橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)

6月6日から始まる議会の審議に、しっかりと役立てていきます。